

ズームアップ

日本ロックセキユリテイ協同組合

安全と財産を守るため
錠取扱業の信頼と技能向上を目指す

倫理教育の徹底を第一に掲げる

6月9日は何の日かご存じだろうか。実は「ロックの日」である。6と9の語呂合せであるこの「ロック」は錠のこと。日本ロックセキユリテイ協同組合（JL）が防犯意識啓発の目的で2001年に制定した。JLは錠取扱事業者が業界の信頼向上のために設立した全国組織で、業界では唯一、内閣総理大臣の認可を受けている。

「錠の施工や修理をする錠取扱業はセキユリテイに直接関わります。ところが消費者はどのカギ屋に頼んでいいかわかりません。そこで組合は倫理教育などに取り組み、JL加盟のカギ屋なら安心だと皆さまから認知されるようになることを目指しています」と語るのは、錠取扱事業者として40年以上のキャリアを持つJLの鈴木祥夫理事長。JLに加盟するには、倫理教育の講習を受けなければならない。しかも、組合員になったあとも3年に1回の講習参加が義務付けられている。そうし



「消費者が安心して、そして信頼して依頼できるカギ屋を目指しています」と鈴木理事長は語る

た教育を受けた組合員は、店頭で組合員証を掲示することができるのだ。「JLの組合員証が掲示されているカギ屋なら信頼できます」と鈴木理事長が断言するように、JLの組合員が業務に関わる不祥事を起こしたケースはこれまでに1回もないという。

厚生大臣認定の検定試験を実施

10年ほど前のピッキング騒動以来、新しい錠が次々に登場し、性能も向上した。そうした錠をきちんと施工・修理するためには、技能の向上が欠かせない。そのためJLでは技能教育にも力を入れ、毎年1級から3級まである技能検定試験を実施。厚生労働大臣が社内検定として認めた権威あるもので、現在、有資格者は約270人に上る。「地震でドアが歪んだためにカギが開けられなくなることもあります。きちんとした技能を持つカギ屋なら、そういう場合もある程度の修理ができます」



進化を続ける錠の施工・修理作業には技能向上が欠かせない

組合員証が安全の印

企業DATA

- 事業所名：日本ロックセキュリティ協同組合
- 所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23-4 コーシンビル2階
- TEL：03-3265-0505
- FAX：03-3265-0806
- 設立：平成10年11月
- 理事長：鈴木祥夫
- 組合員数：1,115社
- 事業内容：組合員に対する倫理教育・技能教育、共同購買・宣伝・広報、一般の人に対する防犯意識啓発
- URL：http://www.jalose.org/
- E-Mail：jalose-info69@jalose.org

JLの組合員なら、倫理の面でも技能の面でも任せて大丈夫ということだ。もう一つ、ロックの日を制定したこともわかるように、JLは防犯意識の向上にも熱心だ。毎年6月9日には全国で防犯を呼びかけるリーフレットなどを配布している。「泥棒は見ただけでそのカギが開けやすいかどうかわかります」鈴木理事長はそう警告する。自分の家のカギが大丈夫かどうか見直してみること。わが家の防犯対策はまずそこから始まるというわけである。

昨年の「ロックの日」には全国各地でイベントが開催された。左写真は東京・巣鴨のとげぬき地蔵尊前、下写真は渋谷駅前の模様

